

戦略的プロジェクト研究推進事業
「有害化学物質・微生物の動態解明によるリスク管理技術の開発」
研究概要図

中課題番号	18065045
中課題名	抗菌剤の使用による薬剤耐性発現の実態調査手法の開発
研究実施期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 (野菜花き研究部門)
研究開発責任者	木嶋 伸行
研究開発責任者連絡先	TEL : 029-838-8575
共同研究機関	国立大学法人九州大学 合同会社アグアイッシュ
農林水産省内 本事業担当	消費・安全局食品安全政策課食品安全技術室 代表 : 03-3502-8111 (内線4451)

研究概要

社会背景

- ・薬剤耐性菌による健康リスクへの懸念

国内事情

- ・国家行動計画「薬剤耐性対策アクションプラン(2016-2020)」による臨床分野や蓄水産分野における抗生物質利用の適正化の強化

農業生産環境における実情

- ・臨床適用のあるオキシテトラサイクリン(OT)、ストレプトマイシン(SM)を殺菌剤として利用
 - 生産環境へのOT、SM投入が耐性菌出現や健康害に繋がるのか実態把握が急務

研究概要

- ・農業生産環境からの薬剤耐性菌(OT、SM)のうちヒトへの健康害との関連性が高い細菌を指標菌として選抜し、検出手法を開発する。(農研機構、九州大学)
- ・実ほ場における手法の実証検証を行う。(アグアイッシュ)

波及効果

- ・農業生産活動と人への健康害との関係が判明
 - 農業生産環境における抗生物質利用の適正化が図れる。